第四回航空日を迎へて

然るに今日とくと強へる第四回

航空威力の 消耗に 對する 医館

に持ら、物の値みを知らぬその

かくて、如何に日本人に大和視 路揚した【緊張=その太會式場】

ありと難も、この数字を以って

我が半部から欧洲した数字

納がもつとく織出すべきであ

古、一方金米二萬八千の中學 め生徒六百五十萬に對して候

少年飛行兵諸君が、初秋の空を

一緒君、久しい間の沈

ふ、ラジオでは長い演説が出來な

れたといふことは未だ當つて聞か

七月二十五日の事件から話を

空軍の大半は保全

将兵諸君、女子ファシスト

一般のなければならぬとである。 「概めなければならぬとである。

國王の裏切明白

再はび余の蟹を聞いて必ず余の影」られ、目余ぐるしい位な早さで

願みるに大東亜取物發以來

るに、陸軍機は二百八十九機、

的協力を促む以て航空の登達に寄
大空に散華
せる軍官民一努めつゝある事質はこれを建業に

IS 學徒

W起

航空大

會

の空への関心は非常に昂まって來 ある、我が國に於ける青少年

日京城運動場で開催、酸域米茂隆波の烈々たる敵愾心を沸ざらせた、一萬五千の豪徒は一糸乳れぬ繁 列のうちに指字訓練質演飛行訓練を縁度け成東原頭広蘭然、壯軍の氣場ら、我等大空に征かんの決意を

たぬ航空決戦が離けられてゐる秋 昭和十五年航空日の制定を見てか

殿等航空決職の非常に鑑み重點をたぬ、殊に今年の航空日は大東亜

蔵に置いてゐるのである、しかし への設足を期し半島においては京

宏要員の多盟<br />
数得と航空機の増

戦闘繼續あるのみ

【東京電話】寺島選相な廿日の第一

ム統帥烈々の獅子吼

総帥はグランサツソオの山荘から教ひ出

常に厳難深きを感する次第である |成を中心に全戦一層に各種記念行

事を舉行するのである、京城第二

んで制空棚を確保し、以つて勝 戦米はその生産力の强大を特

人が空の決戦へ飛び立とずに

の消耗を以つてこの戦心を勝ち

まりと 國民化 自信を傾付け

上の養成にも猛然超ち上ってゐ って、航空生産に歴ずる航空戦 補生たらしむるための訓練

ま合しく半島がもつ愛國の赤城 巨五十段、海軍機に於いて百八

で決せんとして最近焦躁的に

かつての航空日は、空への開

聞くに、アツツ酸に於ける神

國民は一機でも多く一 先づ我々は物に於いてもは

> 來るものではない。物と共に人を送ることのみを以つて解決出 関に航空戦は、只軍に飛行機

> > に國王は肚を極めてゐた、國王に

**感状を揺鹿せられしが、今数年くも上版に達せられたり** 

る職果を收め以てその範疇影響的関値の偉大なるを實証せり 海軍航空部隊は東ら該飛行場群を利用して逐洲本土に進攻し続々を

の本領を遺憾なく發揮せるものにして以て範とすべく、其の武功技

戦成功の因をなし大東亜路域に赫

るやわが航空部隊はここを基地と

川端部家は先づ台灣〇〇地監に飛一わが、先急隊の推進を可能ならし

河端部隊の敢闘戦記

作戦の根抵

「作配の為には飛行為の設定が態要」、日本航空部隊は大贏隊をもつてニュージョージャ階ムンダ外へララベラ風パラコマの米近陣地を短睫死儲および撤害を襲つた』

敵側も公表

衛、その二ケ所に大爆震を超さし高処四ケ所に火燃を生せしめ、うち一ケ所は大火災が、起り燃え燃る火焰をしり目に登機路を譲渡し継続がまたもニュージョージャ階ムングの 敷剛地を魍魎と動烈な戯地上の微火を巧みに覆って的確な於中職を聞き狂を敬事賭施設を

【リスポン十八日同盟】メルボルン來館=西南太平洋反窩・陸軍司令部は十八日次の如く公表した『十七日

【南太平洋〇〇基地十九日同盟】フロモン海域をめぐる彼我の窓中蔵圏は日毎に苛烈の庇を楽めてゐるが、

佐々木飛行中隊

陸を敢行、敵機の歌幼なる來襲そ

比島の奮鬪狀況

ジャワ島の奮戦

始した、しかしこの方面に第一次 は漢がパンダ海方面に当攻を閉

航空力ぞ勝利の鍵

日石遞信局長が强調

日の日本を双層に違ふ寄少年學定

を勝ら抜くことが出來るものと酉

量、質で壓倒

一億國民の選起を製建した ふ日の一日も早からんことを明待

國家は國家主義であると同時に

履に邁進することで不太東亞戦争

ある、國家の高少年島龍に勤するみ採つてしまるやうな尊重がまく

への関心を摘 野宮民一館となうを航空歌力の境である折 と共に其の重要性を深刻に認識し

帯を受けなければならないのであ

トイツ町と相郷へて酸多の慰場に

たマルタ島において敵軍に引

婦人班員の豪も眺ましい▲氣合ひかぶりながらバケツを避んでゐる

い類起になって居り、頭から水を

近各級國班が、総出 になって水掛け流習

空への関心の今日程

されたイタリヤ酸隊は地中海にお一た降伏政権の責任は以上の事

1

が下る、それだのに、からいふ必

の小さい感情と利害から原け切る死の場合に於いてさへ、なぼ自分

ところもあるが、参加省が何れた の脳から見れば、まだ十分でない

超替東京への五二番

一生懸命にやってゐることには戦

日獨と共に起て

陸軍省後受表(九月十九日十六時)大東亜政軍開始以來各方面の飛行場設定に挺身せる河端飛行場設定 同配置部隊及び特に援引方面の標案に武功汝済なる佐々木飛行中隊に對し、さ老に南方方面陸海航空部隊最高指揮電より

輝く河端、佐々木部隊

威狀に映ゆる武勳

草月 一通子太陽中和學 建實營 的行業

戸上度洋で反脳触船館

高温療水路によって野沈さ 【ベルリン・八色河豊】 藤統大本

管は十八日公報をもつて頭側に立 解沈した官競表した つて作取のイタリヤ潜水監が黒海 水域において敵機雷敷設置一隻を

昭和十七年七月時じて東田部隊の悪下に入るや「バンダ」海方前

明航空作成に從事し農人体功を奨し武勲誌々たるものあり

行場の設定に着手し、かが飛行確認定に適能は上力のため飛行時記定に適能した

はこれら連地を利用しわが荒職が一北部高洲に對する航空判験を正

債銀隊の本領を遺憾なく報運せるものにしてその武功抜群なり 艦頭石の脳部を以て常に烈々

南方方面陸軍航空部隊最高指揮官

命令を受けた河端部隊長は密

河端少佐略歷

宮嶐軍で飛行廳校卒業、同十七年日崎村、隆士卒、昭和十六年字都

佐々木大尉略歷

4



ハンダ海の奮戦

を明確ならしめた、當時凝鉛西北

の敵陣を强襲 蒐集した各種作戦資料はわが海索」もあつた、シツタン裏河に成功 ることを確認し、もつてわが作取

障害と聞ひつゝ航空部隊の戦力を 戦闘資料の蒐集 不明だつた北部豪洲の敵航空部隊

大尉(和歌山駅出身)は〇〇質影の大野(和歌山駅出身)は〇〇質影響を見た平思男

原出身)は00債系

ルマに進攻し昨年二月二十七日

岸の栗重要港級を攻略開船七隻を

タン河の破職に地上部隊の最

リヤ滞道勝反四千名の武器旅線を りや滞道勝反四千名の武器旅線を りや滞道勝反四千名の武器旅線を

シツタン河側の爆破に

|佐々木飛行中隊はビルマ作戯開始||昭和十七年夏パンダ海方面の捜索 佐々木部隊の奮戰記 任務を設置した同中隊は往來全く

どでころにもわが陸海軍の協力 同中隊に對し歐洲状が徹られ 偵察に偉勳

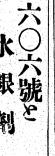
(鹿児島殿) と共に出烈な威死を(鹿児島殿) と共に出烈な威死を

【〇〇基地十九日同盟】 欧状を 目爆の大平大尉 大陽は生前『能が死んだら返ば だから』と言うてゐたので観光 でから』と言うてゐたので観光 陸鷲の俊秀であつた常な処態家で借みても除りある 伊商船七隻を拿捕

曜下の部際が出場するアドリヤ海 東部家は十七日イタリヤ時伏敗衛

ビタシー 消化と 小兒殺育不良・ ル兒殺育不良・ に奏効 に奏効 ライオン製築株式会社





反樞軸船團爆擊

運送船敷隻に直盤躍を沿びせた

〉足立科天氏(钢餅無水酒精社長)

消息

離版中廿日午前八時十分夏虚で

朝中込ミドサイ
動中込ミドサイ
の一般を受べい。 原澤製學工衆法式會大東京市芝區高輪北町二二

結核専門薬

研究三十年

の接壤幣で、第二班が訓練してゐ

がはしい▲即ら第一班と第二班と ことの出來ない人間があるのは歌

なつたので、そこの第二般の方に る時、もつパケツで運ぶ水がなく

漸く完成!

會 式 体 景 製 建聚 給 配 粉 粉 鲱 颗 二一卯解稱 形 一页 業 藥 光 『

線に第二班の水を囲ばれてたまる

ったとすれば、その結果はどんな のかと、文句をつける人間があ

のであらうか▲雰囲班の仕事が

あり得る、そんな時、第一班の訓 ある水槽の水を使ふことも監然に

也 所 五 **社** 

御服用あれ 16 日分 マ 6.00

結核専門薬

機保互助にまで版大せねばならぬ

るかを渇へ喧せば、相互決助を もないが、何故の水掛け流習で 挟助に繰してゐることはいふま 質的にお役所の仕事と買り、相

ちた態実識を、儱の家の水で消す

ことは必須である▲お前の家に窓

法があるかといる抗聴が、殊に取

10で、20万円 できません。 10万円 できません 10万円 できまません 10万円 できません 10万円 できません 10万円 できません 10万円 できまません 10万円 できまません 10万円 できまません 10万円 できまません 10万円 できままない 10万円 できままない 10万円 できままない 10万円 できままない 10万円 できままない 10万円 できままない 10万円 できまない 10万円

家に急告

1 C×10A 1 C×50A

10° • 20°

工冊相で約四百貫切手代用は次条月四頁で 用日本京歌 一大大学の名は曲を開催した一冊と続は東の作成や長次が、人間が美学家し種門です本書 一門と独立の企成が美工所は、大学の名は曲を開催した一冊となり送りまれた。 店**30** 立有一〇二一七京東督游

われ加滕軍神に強かん、兄斌の偉実を似承せんくの一大決恵を始揚した 常振與蔥、同京畿道振興瓊、朝鮮國防航空團共催で航空日を整へを十九日午朝九時から京城運動場で銀行々われ山本海神を最がん、 を焼き、若き感徳の皿得は減免な屍の強ひも固く兄輩に避かんとする暴職の総勝却を闡成し、ことと「暴徳航巡戦却大官。は朝嶽戦融國の興総、大東郎自年の滅熊を聴して弱界、北非に自び無端なる航空投職が離げられてあるとき ひをぶる窓への帰現は試画の患職

動員して選に進歩 敵機の襲

防災の国めを 航空へ集るが選しき

競人豆翼の精鋭

漢江砂原上空ニー千機の亂舞

題山本内務部長は『模型機が玩具 **整區場、道內中初等學校生徒二**字 の増盛こそは戦局を左右する には先づ航空機生産の主席を 日烈なる航空決戦下、航空機 急重大問題であるが、

航空日を削にして十九日

手密包式は十七日午前九時から神【大邱】神社第二次細造然工事名

伊藤商工會頭ほか脳路に執行した

本田中尉の卷

を恥めて悠久に流れ

源那邊源山榆河

を威格にし何時でもお図の

んな説話がある にありながら親は必ず五時起来 一が年の日常を買き問題の國境

うになった、またこんな話も似

一少年の信盛は全校を嵌ふやいる。それ以來校園は改会り

張りぐん

観常六年生の當時卒業した上級の頃から兵隊好きでもあつた、

た。僕は埋人大好きよっと幼少

に入盟し軍事酸線や演習をやつ

を強くしたのであり、その し僕も坦人になる。と商々決意

質を授與されたほどである

で負けず嫌

無口な派一少年を

校に第一少年の自組化的学問も、それをおいている近八年できるが影響動會の最後の決勝魔走野、に正静戦に強く不遵不郎倒れて、水清運動會の最後の決勝魔走野、に正静戦に強く不遵不郎倒れて、な

官の選摩大尉が見込み爾來一ケ

後なほ已むといる強い魂が密は れてゐたことを物歌るものでい

を手解ひながら真面目に勉強し

校風を改めた。正義の鐵拳

最終のコースに置つてあ 強けてゐた、その時 なつた、その性格はまた微

にたとうといる桑風を生

を血で彩り借く

少年に大きな無官の成化を則

御造營工事

S航路一色に発ってこの<br />
記職の<br />
歌謡の<br />
歌謡の<br />
歌謡を<br />
行みなど<br />
跡でっ<br />
空の決策<br />
を

祭、滑空大會、落下傘降下が花及しく場

着手奉告式

日朝鮮航空駅で下成総約部長を助けてあるとき、京城中国南大門通 **適いて 同十分ソアラを 曳行したを描き、 目返り、 低空飛行を敢行** 南溟の選を紅に染める航空が 飛行機が來謝、けふの大進機を脱 金にまたは航空資金の客附等に示 荒鷲の基金 海行かばを合唱、本田思 洞車哲学氏はこの程真玉夫人忌明 五千圓をほんと禁出し、関係者を れる若然養成基金の



**西員を招集して電施打合を開催** 

座談會【頻川郡では

若

寶

天寂

十六日より廿二日迄 劇

3.03 3.03

一般の脈形にク気の決戦に献じて勝たねばならぬくの地 密決域による<br />
勝敗の<br />
暗翅は全戦局の<br />
動向を<br />
左右する<br />
/<br />
勝利か

へ、多数の飛行機を急進して前級

敵擊滅

校、取門、大 學的一萬五千

徒総蹶起への大いなる追發を激励この式酔に引燃き、ける時れて恩

三年小川八郎、京城中學五年力武・<て一向曹楊周麟・スタンドに納ず、螺館を立て、「曹場の上窓を図く弧すればこれに願へて城大谿學部」と決獄文を納々と頼めあげる。か「韓五分園東北進の決戦を賜はせる」「田の神域を一勝に飛び踏えて同十一日の神域を一勝に飛び踏えて同十一日の神域を一勝に飛び踏えて同十二日の神域を一勝に飛び踏えて同十二日の神域を一勝に飛び踏えて同十二日の神域を一勝に飛び踏えて同十二日の神域を一勝に飛び踏えて同十二日の神域を一勝に飛び踏えて同十二日の神域を一勝に飛び踏えて同十二日の神域を一勝に飛び踏えて同十二日の神域を一勝に飛び踏えている。

鮮産で作れ航空機 眠る輕金屬へ技術陣擴充 朝鮮の軽金属は未だ初期に

中であるが朝鮮の総金盛工業 は豐富な電力を擁してその將

處これらの急速且動類的な概然としく遅れてゐる、目下の 元が絶對に必要だと思ふ、 無機化學、冶金部門の研究機

要だ、極金脳も同様ですべて 之らの研究機関と共に 富た、鮮酸器土が駄目だ、

陸士に受験、こくでも見事 是事結婚し剱道初段を免許され

數<sup>田刊明</sup> 學一高

解析入明 ( ) 數 研

△數學者於養成 十月四日開講 海峰科(大學程度)

要現四則

金屬回收に

日本數學鍊成所

待赴銓及銓縮申 提出 無方所時切先 類 

板垣 将軍も観戦

の日午後一時すぎ板垣朝織取司令な職衆が詰めかけて暇はつた、こ の競馬日和に惠安れ早朝から熊心(狂させ、第十競局新呼特別(二千

所を通じ金三十四を海軍へ献金手

おいて水利組合作業場勤労管理

株式名義書換其の他学止公告 株式名義書換其の他学止公告

京城市岛太平地一丁自治九省中 一一陟 鎖道株式 會社

京|場劇ー -第

一般 では、 一般 では、

場劇陸大場劇洋東

国大日ッソ 日本版 2 日本 ニュース 日本 ニュース 日本 ニュース 日本 ニュース 日本 ニュース 日本 ニュース

館花浪|館樂

喜

場劇花桃

座日朝

1-00 をは をし ・1-00 を 場劇央中

大日ョリー 大日ョリー 大日ョリー 大日ョリー 大日ョリー 大日ョリー 場別南城

空子师

館畫映信和

來れ汝矣島へ多彩の行事

||翳|||穴の續出で賑ふ

が延得、晴れの楽冠を

府民館に集ひ、陸海荒鷲の實戦の様相を聴け

東 (元行) W 聖 (元行) N 四級 (元行) N 元 (元元) N 元 (元元

向山海軍 安村陸軍 大

質太寒

學徒一萬五千鐵血の誓ひ

な回郊那るうちに迎へる第四回航

引越 共何に担当

型版目的の完強に適適せられん。 型の精神力と腫瘍な遺を取るして待つかるの 日待破すると 共に不用の精神力と腫瘍な遺を破へて

株式名義曹晚亭止公告 1947年 | 1948年 | 1

空大會、落下傘降下、飲納機会機然還多改の郷土訪問をはじめ

図防骸鉛五十回▲自腐器、壁的「砂金が開閉氏は十三百数十名記略」の含繊維。 各三十回▲ 表 所を重し会三十回を海域(戦争地)二十回 「成会」下数十名。 「なるとつえ 奮起せよ半島若人

(明川) 東四極

座 富新